

専門医に
聞きました!



超音波内視鏡検査による 膵臓がんをはじめとした 病気の早期発見に注力

井元先生は日本消化器病学会や日本膵臓学会の専門医であり、特に胆道・膵臓疾患の診療を得意としている。先生に検査の詳細をうかがった。

通常の検査では捉えづらい 膵臓疾患の発見が可能

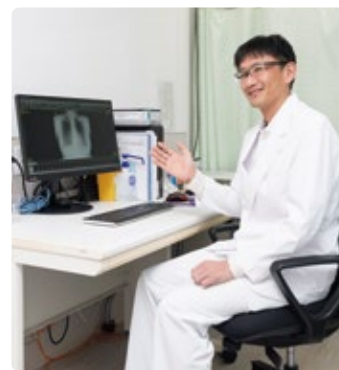
青山病院では、近隣の病院では導入が少ない超音波内視鏡検査を行っている。その詳細を井元先生にうかがった。「胆膵疾患を検査する時は、体の外から超音波検査を行うことが一般的ですが、膵臓は胃の裏側にあるため、体の外から超音波を当てても膵臓全体を捉えることが困難です。その点、超音波内視鏡はエコーがついた特殊なスコープを胃の壁に当て、体の内側から膵臓を観察するため膵臓全体を検査でき、病変をより確実に発見することができます」。



超音波内視鏡を施行する井元先生。小さな病変も見逃さないよう、細心の注意を払っている。



1.2. 青山病院では超音波内視鏡以外にも検査が充実している。大腸CT検査では、内視鏡を使わずに大腸がんやポリープを発見できる。嚥下内視鏡検査では、嚥下機能の細かな評価が可能。



消化器内科の診療風景。井元先生は患者さんを常に慮り、柔和な対応を心がけている。

病気の早期発見のため 自発的な検査を推奨

「肝臓や胆のう、膵臓の病気は自覚症状がないままに進行し、症状が現れた時には治療が手遅れとなってしまうケースも多いです。そのため自発的に検査を受けていただくことが大切になってきます。家族歴がある場合や、健診で異常な数値が出た場合は特にですが、何も異常がなかったとしても、定期的に検査を受けていただくことが重要です」と、井元先生は言う。同院には超音波内視鏡以外にも様々な検査機器がある。不安のある方はまず診察を受けてほしい。

医療法人ラポール会 青山病院

井元 章 副院長

hospital data

医療法人ラポール会 青山病院 / TEL:072-953-1211 藤井寺市野中4-16-25 <https://www.aoyama-med.gr.jp/medical-rapport/aoyama-hospital/>

▶ 医療詳細ページ有り ●●●P